

栗原市長定例記者会見

日 時 令和6年2月9日（金）
午後2時00分
場 所 栗原市役所 講堂

1. 令和6年第1回栗原市議会定例会の日程及び議案について
(総務部 総務課) P. 1
2. 令和6年度当初予算について
(総務部 財政課)
3. 「大規模災害見舞金」について
(総務部 総務課) P. 2
4. 栗原市ゼロカーボンシティ宣言について
(市民生活部 環境課) P. 3
5. 栗原市物価高騰支援 生活応援商品券について
(商工観光部 産業戦略課) P. 4
6. 栗駒山麓ジオパーク学術研究等奨励事業成果報告会の開催について
(商工観光部 ジオパーク推進室) P. 5
7. 観光関連イベント情報の提供について
(商工観光部 田園観光課) P. 9
8. その他

令和6年第1回栗原市議会定例会

月 日	開会時刻	会議区分	内 容
2月14日(水曜日)	午前10時	本会議(1日目)	会期の決定、議長諸般の報告、市長の行政報告、議案の提案理由説明、陳情 等
2月21日(水曜日)	午前10時	本会議(2日目)	一般質問(代表質問)
2月22日(木曜日)	午前10時	本会議(3日目)	一般質問(個人質問)
2月26日(月曜日)	午前10時	本会議(4日目)	一般質問(個人質問)
2月27日(火曜日)	午前10時	本会議(5日目)	一般質問(個人質問)
2月28日(水曜日)	午前10時	本会議(6日目)	一般質問(個人質問)、議案に対する質疑、委員会付託省略議案の採決、議案等の委員会付託、予算特別委員会の設置 等
		予算特別委員会	正副委員長の互選、当初予算内容の説明 等
2月29日(木曜日)	午前10時	各常任委員会 予算特別委員会	付託議案の審査
3月1日(金曜日)	午前10時	各常任委員会 予算特別委員会	付託議案の審査
3月4日(月曜日)	午前10時	各常任委員会 予算特別委員会	付託議案審査報告書のとりまとめ 等
	午後1時30分	本会議(7日目)	常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決 予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決
3月5日(火曜日)	午前10時	予算特別委員会	付託議案審査(総務常任委員会所管分)
3月6日(水曜日)	午前10時	予算特別委員会	付託議案審査(産業建設常任委員会所管分)
3月7日(木曜日)	午前10時	予算特別委員会	付託議案審査(文教民生常任委員会所管分)
3月8日(金曜日)	午前10時	予算特別委員会	付託議案審査(特別会計・事業会計)
3月11日(月曜日)	午後1時30分	本会議(8日目)	予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決 常任委員会委員長報告(請願審査) 追加議案、発議案、閉会中の継続調査申し出、陳情 等

■議案件数(予定)

報告1件 承認1件 予算議案16件 条例議案10件 その他議案2件

諮問4件

合計34件

■議案書の配布について

配布日時 令和6年2月9日(金) 午後1時から

配布場所 栗原市役所 2階 総務課

「大規模災害見舞金」について

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災した自治体に対し、『栗原市国内大規模災害見舞金に関する要綱』に基づき、次のとおり大規模災害見舞金を支出しました。

1 大規模災害見舞金支出額について

- (1) 石川県 20万円
- (2) 輪島市 10万円
- (3) 穴水町 5万円
- (4) 羽咋市 10万円

2 支出額の判断について

- (1) 能登半島地震において、見舞金の対象となる「1週間以上、100人以上が避難した自治体」が、石川県内で5市5町となったことから、石川県に対し20万円の見舞金を支出するもの。
- (2) 平成20年岩手・宮城内陸地震及び平成23年度の東日本大震災において、直接栗原市に対し支援をいただいた輪島市に対し10万円、穴水町に対し5万円の見舞金を支出するもの。
- (3) 今回の災害において、初期支援を行った羽咋市に対し10万円の見舞金を支出するもの。

3 大規模災害見舞金について

(1) 目的

栗原市が平成20年岩手・宮城内陸地震による被災の際に全国から物心両面にわたり数多くの支援を寄せられたことから、国内で発生した大規模な災害により被害を受けた市町村等に対し、栗原市が、市民を代表して一般会計歳入歳出予算で定める額の範囲内で見舞金を支出することに関し必要な事項を定めるもの。今回で延べ33自治体となる。



栗原市ゼロカーボンシティ宣言

～ 目指そう 二酸化炭素ゼロ! 豊かな美しいくりはらを次世代へ ～

栗原市は、栗駒固定公園に含まれる栗駒山を擁し、ラムサール条約湿地に登録されている伊豆沼・内沼のほか、栗原市全域が栗駒山麓ジオパークのエリアとなっている豊かな自然に加え、先人から引き継がれてきた数多くの伝統行事が今なお残するなど、歴史や文化にも恵まれた田園都市です。

この「豊かな美しいくりはら」を未来の世代に継承していくことは、今を生きる私たちの責務です。

近年、地球温暖化による気候変動の影響は、気象災害の頻発など顕著に現れています。本市においても未曾有の大規模災害に見舞われながらも、復興と再生を掲げ、市民・事業者・行政が一丸となって乗り越えてきたものの、今後、気象災害の更なる多発化・激甚化が予測され、市民の生命・生活基盤を揺るがす気候危機は大きな脅威となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」ことを世界共通の目標として掲げられ、日本においても2050年カーボンニュートラルの実現、2030年度温室効果ガス排出量46%の削減を目指すことを表明されました。

こうした状況を踏まえ、市民・事業者・行政など多様な主体と協調し、世界的なSDGs達成への貢献と、脱炭素の潮流を本市の新たな成長機会に変えるため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ栗原」の実現に向けて、挑戦していくことをここに宣言します。

令和6年(2024年)2月9日

栗原市長

佐藤 智



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

栗原市ゼロカーボンシティ宣言

くりはらゼロカーボンチャレンジ2024取組一覧

目指そう 二酸化炭素ゼロ! 豊かなうつくしいくりはらを次世代へつなぐために。

記者発表資料
令和6年2月9日
栗原市市民生活部 環境課
TEL 0228-22-3350

1

市民とともに取り組む

『ひとりひとりができる くりはらエコチャレンジ』の推進



- 温室効果ガス排出量を実質ゼロとする『ゼロカーボン』の実現には、ひとりひとりのライフスタイルを見直していくことが重要です。
- このため、個人や家庭レベルで取組めるエコ活動について、「ひとりひとりができる くりはらエコチャレンジ」として、市民の皆さんに推進していきます。
- ひとりひとりができる くりはらエコチャレンジ
 - 省エネ・節電・節水などのエネルギーの節約・転換、太陽光パネルなどの再エネ導入、食品ロスやごみの排出量の削減など、環境省が推奨する30項目の取組みを例示し、日常生活におけるエコ活動の取組みを推進していきます。

2

一般家庭ごみの減量・リサイクルの推進



- 製品プラスチックごみ回収実証実験事業の実施・検証
 - R6年度:新たにプラスチック資源の回収・商品化に向けて、10地区の各1行政区を対象とした実証実験を行い、一般家庭ごみの減量化・資源化を目指します。

3

森林環境譲与税を活用したCO2吸収源の保全



- 栗原の美しい森林(もり)再生事業
 - 森林環境譲与税:パリ協定の枠組みのもと、国の温室効果ガス排出削減目標の達成・災害防止を図るため、森林整備等に必要なた地方財源として創設されたものです。
 - 当該財源を活用し、私有林(人工林)の適正管理に向けた事業展開により、CO2吸収源である森林の保全を図ります。

4

自然環境調和型の再生可能エネルギーの推進



- 栗原市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例に掲げる基本理念のもと、自然環境、景観、災害防止に配慮した再生エネの推進を図ります。
- → 当面は、宮城県事業の活用等により、一般家庭・事業者用の屋根置き型太陽光発電設備導入を促進していきます。

5

次世代型自動車・充電インフラの普及促進



- 電気自動車等購入支援事業
 - 電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)を購入した個人法人を対象に購入経費を助成します。(R6年度:20台予定)
- 官民連携型充電インフラ整備事業
 - ㈱e-Mobility Powerとの協定締結による充電インフラを整備し、充電空白エリアの解消を図ります。

6

市が実施する事務事業や公共施設における省エネの推進



- 行政庁舎等照明設備LED化事業
 - 市役所行政庁舎のほか、新たに市立3病院におけるLED照明のリース導入や、水道・下水道施設のLED化を図ります。
- DX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画の推進
 - AIなどのICT技術を活用したデジタル化と業務改革の推進を図ります。

くりはらゼロカーボンチャレンジ(実行計画)ロードマップの策定

- 中期目標「2030年度温室効果ガス排出量46%削減」に向けた実行計画の策定
 - 上記の取組みを進めつつ、市民・事業者・行政など多様な主体と協調し、市全体の温室効果ガス排出量について、国が掲げる中期目標と同程度の目標達成に向けた実行計画を策定します。

市民の皆様へ

栗原市物価高騰支援生活応援商品券



栗原市では、エネルギー・食料品等の価格高騰による市民の皆様の負担を軽減するため、1人あたり3,000円分の商品券を配布いたします。



一般小売店等

大型店

商品券は左記のステッカーのお店でご使用いただけます。

専用券は一般小売店等でのみ

(1,000円券×2枚)

共通券は一般小売店等および大型店

(1,000円券×1枚)

対象となる方

基準日（令和6年2月1日）において、住民基本台帳に記録されている方

配布する時期及び方法

令和6年2月下旬から各世帯に郵送を開始します。

1度目の配達で不在の場合→再度配達します。

2度目の配達で不在の場合→「ご不在連絡票」が投函されます。

配布する商品券

1人あたり
(1,000円券×3枚)

3,000円

商品券の使用期限

令和6年 **5月31日(金)**まで



使用可能な取扱店舗

商品券の配布に併せ、使用可能な取扱店舗の一覧表を同封します。

令和4・5年度 栗駒山麓ジオパーク学術研究等奨励事業成果報告会の開催について

栗駒山麓ジオパークでは、ジオパークエリア内の資源発掘や学術的価値の創出を目的として、栗駒山麓ジオパークを対象とした研究活動を行う学生や研究者等に対し、調査研究費の助成を行っています。

その研究成果をそれぞれ発表することで、最新の事例を広く一般に周知し、栗駒山麓ジオパークへの関心を深めてもらうことを目的として、令和4年度から令和5年度までの2カ年分の研究助成にかかる成果報告会を下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時 令和6年3月7日（木）午後1時30分から4時30分まで
- 2 場 所 栗原市役所 2階 講堂
(栗原市築館薬師一丁目7番1号)
- 3 開催方法 現地聴講およびZoom視聴によるハイブリッド開催
- 4 発表対象 ・令和4～5年度学術研究等奨励事業採択者（会場発表または動画発表）
・1人あたり15～20分発表（質疑応答 発表後に5分程度）
 - ① 林 憲吾 氏（東京大学生産技術研究所 准教授）
「地理からみる長屋門の多様性 –栗原市・迫川流域を中心に–」
 - ② 佐々木 繁喜 氏（一関市文化財調査委員）
「金成の砂金とその包含層」
 - ③ 波名城 翔 氏（琉球大学人文社会学部 専任講師）
「ユニバーサルツーリズムを見据えた栗駒山麓ジオパークの実証的研究」
 - ④ 佐藤 翔輔 氏（東北大学災害科学国際研究所 准教授）
「マルチハザード型かつ自然災害共生型ジオパークにおける学習体系、手法のあり方に関する研究」

- ⑤ 熊谷 誠 氏（山形大学大学院教育実践研究科 講師）
「河川模型・エムリバーを用いた洪水リスクコミュニケーションの
手法の検討と学習パッケージの開発」
- ⑥ 高橋 尚志 氏（東北大学災害科学国際研究所 助教）
「栗駒火山における完新世の水蒸気噴火堆積物の層序と分布」
「栗駒山麓地域における更新世末期以降の火山噴出物層序および
地形発達史の解明」
- ⑦ 目代 邦康 氏（東北学院大学地域総合学部 准教授）
「栗駒山麓ジオパークにおける養蚕に関連する文化的景観の価値の評価」
「花山地区地すべり地形における斜面変動地形の分布を規定する
地質条件と、斜面変動が河川地形に与える影響」

5 総 評 千葉 則行 氏
(東北工業大学 名誉教授・栗駒山麓ジオパーク推進アドバイザー)

6 申し込み オンライン：最大70名（事前申し込み制）
※ZoomのURLを送付するため1週間前まで申し込み
現地聴講：最大50名（自由参加）

7 問合せ 栗駒山麓ジオパーク推進協議会事務局
電 話：0228-24-8836
E-mail：info@kurikoma-geo.jp



栗駒山麓ジオパーク



参加
無料



令和 4、5 年度

学術研究助成

成果報告会

2024 年

3 月 7 日 (木)

13:30 ~ 16:30

オンライン・会場ハイブリッド開催

定員：オンライン 70 名、会場 50 名

会場：栗原市役所 講堂

(宮城県栗原市築館薬師 1 丁目 7-1)

7 主催：栗駒山麓ジオパーク推進協議会 (TEL：0228-24-8836)

栗駒山麓ジオパーク学術研究助成成果報告会

■開催概要

栗駒山麓ジオパークでは、エリア内の資源発掘や学術的価値の創出を目的として、栗駒山麓ジオパークを対象とした研究活動を行う学生及び研究者に対し、調査研究費の助成を行っています。その研究成果を発表することで、最新の研究成果を広く一般に周知し、栗駒山麓ジオパークへの関心を深めていただくことを目的として開催します。



- ・開催日時：2024年3月7日（木）13時30分～16時30分
- ・開催方式：Zoomを用いたオンラインと会場のハイブリット開催
- ・定員：オンライン70名（要・事前申込み）、会場50名（自由参加）
- ・会場：栗原市役所 講堂（宮城県栗原市築館薬師1丁目7-1）

■プログラム

報告番号	テーマ	発表者 (敬称略)	採択年度
1	地理からみる長屋門の多様性 一栗原市・迫川流域を中心にー	東京大学 生産技術研究所 林 憲吾 氏	令和4
2	金成の砂金とその包含層	一関市文化財調査委員 佐々木 繁喜 氏	令和5
3	ユニバーサルツーリズムを見据えた栗駒山麓ジオパークの実証的研究	琉球大学 人文社会学部 波名城 翔氏	令和4
4	マルチハザード型かつ自然災害共生型ジオパークにおける学習体系、手法のあり方に関する研究	東北大学 災害科学国際研究所 佐藤 翔輔 氏	令和4
5	河川模型・エムリバーを用いた洪水リスクコミュニケーション手法の検討と学習パッケージの開発	山形大学大学院教育実践研究科 熊谷 誠 氏	令和5
6	栗駒火山における完新世の水蒸気噴火堆積物の層序と分布 栗駒山麓地域における更新世末期以降の火山噴出物層序および地形発達史の解明	東北大学 災害科学国際研究所 高橋 尚志 氏	令和4 令和5
7	栗駒山麓ジオパークにおける養蚕に関連する文化的景観の価値の評価 花山地区地すべり地帯における斜面変動地形の分布を規定する地質条件と、斜面変動が河川地形に与える影響	東北学院 大学地域総合学部 目代 邦康 氏	令和4 令和5

■お申込み方法



- ①オンラインでの視聴を希望する方（定員70名、先着順、**要事前申込**）
左記のQRコードまたは栗駒山麓ジオパークウェブページの申し込みフォームよりお申込みください。（〆切：3月4日）
- ②会場での参加を希望する方（定員50名、**申し込み不要**）
当日、直接会場までお越しください。開場時間は13時を予定しています。

■お問い合わせ先

栗駒山麓ジオパーク推進協議会事務局（栗駒山麓ジオパークビジターセンター内）

[電話] 0228-24-8836 [FAX] 0228-45-5936 [E-mail] info@kurikoma-geo.jp

[住所] 〒989-5372 宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5番地

イベント情報の提供について【令和6年2月、令和6年3月】

記者会見資料
令和6年2月9日
栗原市商工観光部田園観光課
TEL：0228-22-1151

月 日	イベント名	開催場所・会場名(住所)	内容・時間・アクセス・駐車台数等	問い合わせ先	電話	備 考
2月28日(水) ～3月3日(日)	第24回くりこま商家 のひな祭り	みちのく風土館、 岩ヶ崎地区内の参加店舗等	【概要】古き良き時代の栗駒地区商店街の賑わいを取り戻すため、くりこま商家によるひな祭りを開催します。今年のみちのく風土館及び参加店舗でのつるし飾りの展示や売店の設置を行います。 【時間】午前10時～午後3時30分	くりこま商家のひな祭り実行委員会 (事務局：栗駒鶯沢商工会)	0228-45-2191	
3月7日(木)	栗駒山麓ジオパーク 学術研究等奨励事業 成果報告会	栗原市役所 2階 講堂 (築館薬師一丁目7-1)	【概要】栗駒山麓ジオパークのエリア資源発掘や学術的価値創出を目的として実施している、栗駒山麓ジオパークを対象とした研究活動を行う学生や研究者に対する調査研究費の助成事業の成果に関する発表会を行います。Zoomによるオンラインと現地観覧のハイブリッドで開催します。 【時間】午後1時30分から午後4時30分まで 【内容】学術研究等奨励事業の概要説明 成果報告(7名) 総評 【料金等】無料	栗駒山麓ジオパーク推進協議会 (栗駒山麓ジオパークビジターセンター内)	0228-24-8836	
3月10日(日)	石尊さまの火伏せ祭り	石尊神社境内他 (栗原市若柳武鎗字町館)	【概要】石尊神社の御神体は日本武尊だと伝えられ、火伏せの神として信仰されている歴史のある神社です。腰藁を着けた裸の厄男たちが、町館地区内を練り歩き、各家に水をかけて火伏せを祈願することで「石尊さまの裸まつり」とも言われております。また、祭りが行われる頃から寒さが和らぐことから、地元では春を呼ぶ祭りとなっています。 【時間】午前10時00分 御膳上げ(桜太鼓) 午前10時30分 地区内神幸 午前11時00分 水冠り(集落内) 正午 お宮入り	総代長 熊谷 孝	090-1060-0707	
3月16日(土)	細倉マインパーク スプリングコンサート	細倉マインパーク 観光坑道内イベントスペース(栗原市鶯沢南郷柳沢2番地3)	【概要】5年ぶりの開催となる「細倉マインパークスプリングコンサート」今回は、津軽三味線のライブ演奏です。観光坑道内の音響効果を利用し、音楽に親しんでいただくものです。 【時間】開場 午後4時30分 開演 午後5時～午後6時まで 【料金】大人 500円 中高生 400円 小学生 300円 未就学児無料 【その他】先着100名(※電話申込が必要)	【申込先】 細倉マインパーク	0228-55-3215	

月 日	イベント名	開催場所・会場名(住所)	内容・時間・アクセス・駐車台数等	問い合わせ先	電話	備 考
3月24日(日)	ふれあい能楽セミナー	栗原市一迫ふれあいホール (栗原市一迫真坂字高橋20番地1)	<p>【概要】プロの能楽師による優しく解りやすい能楽講座。</p> <p>【時間】午後1時30分～ (開場:午後1時)</p> <p>【内容】能楽講座(能の歴史、能舞台の構造、能楽師の構成、能の曲の種類、能の流れ、能面・能装束について、能の拍子について、謡を謡ってみよう) ※質疑応答、仕舞『高砂』実演あり</p> <p>【料金等】前売2,000円、当日2,500円 プレイガイド ①あやめの里 (0228-57-6151/栗原市一迫真坂清水田川4-1) ②シューズ&バック スガワラ (0228-22-5375/栗原市築館薬師三丁目7-25)</p> <p>【その他】夢玄面友会による「能面展」を同時開催</p>	<p>E-Mail : nougaku.ichi@gmail.com</p> <p>電話:実行委員会 菅原 090-1062-4610</p>	090-1062-4610 (実行委員会 菅原)	
3月29日(金) ～3月30日 (土)	高清水互市	旧高清水中学校前通り (栗原市高清水桜丁)	<p>【概要】江戸時代末期、火災や飢饉で疲弊した人々を救おうと始められ、以来毎年3月と10月の各29・30日の2日間行われます。牟良左喜(むらさき)神社の祭礼の時期にあわせ開催され、会場の旧高清水中学校前通り沿いには、竹細工や木工品などの日用品や農産物を販売する約20の露店が軒を並べます。また、この高清水互市は県下の中でも最古とされ歴史を誇るものです。</p> <p>【時間】午前8時30分～午後4時</p>	仙北街商共同組合	090-3123-7971	